

就労継続支援B型事業所 すずかけ

1 基本方針

地域で暮らす障がいのある方が、社会の一員として生きがいを持ち自立した日常生活を営むことができるよう、一人ひとりの障がいの状況に応じた生産活動の提供と個別支援を行う。
また、事業所内外の活動を通じて、利用者の労働意欲の向上を図るとともに、作業環境を整え、より高い工賃が支給できるよう努める。

2 利用者の状況（令和8年3月31日現在）

（1）利用者状況

（人）

利用者人数		前年度末利用者数	令和7年度中の入退所状況										利用 延人員	対定員 年間 平均 稼働率	年度 末利 用者 数	
区分	定員		入所 人員	退所 人員	退所理由別											
					地域移行		家庭 復帰	施設 移管	死 亡	就 職	サｰビｽ 変更	他				
					GH	単身										
就労B型		38	34	3	3	0	0	1	1	0	0	0	1	5,799	60.8%	34
6年度	就労B型	38	35	4	5	0	0	0	0	1	0	1	2	6,273	66.0%	34

（2）障害支援区分

就労継続B型 [平均2.4]

（人）

性別	障害支援区分							計
	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
男性	8	0	5	3	6	1	0	23
女性	2	0	1	3	1	3	1	11
計	10	0	6	6	7	4	1	34

3 事業の実施状況

（1）商品開発、販路拡大等による収入増と工賃の向上

令和7年度平均工賃月額（目標）18,000円 →（実績）20,177円

ア 印刷関連作業については、ガイナレー鳥取のポロシャツや、鳥取県手話パフォーマンス甲子園の公式グッズの印刷などの受注を請け負い収入増に努めた。

イ 食品加工作業については、昨年度に引き続き鳥取県障がい者就労事業振興センターとの連携により、外部販売の機会を数多く確保して販路拡大に努めた。

昨年度から大江の郷やテラサンファームの葡萄など、新規業者との取引を活用し、伏野つばさ園と連携して、ドライフルーツ入りコッペパン等の製造販売等を行うなど、年々新規の受託作業も増えてきている。

昨年度に引き続き、HACCP（食品を製造する際に工程上の危険を起す要因を分析し安全を確保する管理手法）の考え方を取り入れた衛生管理計画を策定し、適切な生産活動を行った。

ウ 受託作業については、今年度6業者からの作業を請け負った。

このうち、昨年度から受託を開始した、浄水場の除草作業については、利用者の健康配慮（熱中症の危惧）し、今年度について受託を中止とした。

今年度から新たな作業として、生姜の袋詰めを開始した。

（2）障がい特性に合わせた支援と機能評価

ア 自閉症等利用者の障がい特性に配慮し、落ち着いて作業に取り組んでもらえるよう作業席の配置など物理的構造化を行うとともに、利用者一人ひとりの作業適性に応じて作業班の変更などの環境整備を実施した。

イ 利用者に対する職能評価を3ヶ月ごとに実施し、カンファレンス等の機会に作業意欲や能力伸張に繋がるよう働きかけを行った。

また、作業班によって評価に偏りがないよう、全体で評価する機会を設け、客観的な評価の見直しを継続している。

ウ アセスメントを通して、利用者の意向確認を行い、作業班の変更や作業内容の見直しを行い、適材適所とステップアップに繋がる個別支援計画書の見直しに努めた。

(3) 地域に密着した農福連携と地産地消

ア 加工した食品について、地域の販売所等である「道の駅・西いなば気楽里」、「道の駅・清流茶屋かわはら」、「地場産プラザわったいな」、「サンマート」、「マルイ」等に出荷、販売を行った。

イ 原材料の調達に関しては、地域の漁業協同組合や個人生産者から仕入れ、海産物（わかめ、あかもく）、野菜（大根等）、果物（梨、葡萄など）を加工し、地元の保育園や小中学校に納入した。

(4) 利用者の安定確保

ア 今年度は、他の障害福祉サービスへ移管1名、家庭復帰1名、入院による契約解除1名で、登録者が3名減となった。

一方、3名の新規利用者があり、登録者の現員は、昨年度末と同様34名となった。

利用者の獲得については、相談支援専門員等への依頼のほか、特別支援学校からの職場体験実習を受け入れ、卒業後の利用に繋げている。

稼働率：目標80.0% 実績60.8%

(5) 地域福祉への貢献と交流

ア 「鳥取市西地域つながる会」（精神障がい者が地域で安心して暮らせるように検討をしていく会）に参画し、地域福祉の在り方等に携わっている。

イ 地域のイベント（7月：勝谷地区元気祭り、8月：鹿野町夏祭り、9月：週末だけのまちのみせ、11月：鷲峯山麓ハーフマラソン屋台）等で生產品の出店、販売を行うとともに、地域との交流に努めた。

ウ いまいち地区の住民と交流を深めるべく「いまいちの集い」に参加し、集会所にてゲーム、スポレク、アートなどにより交流を図った。

エ 「協力雇用主」に継続して登録しているが、生活困窮者支援事業等に協力するには至っていない。相談があれば地域の社会資源としての役割を努めていきたい。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	実習期間(月)	実人員	延人員
介護体験(鳥取大学)	7.8.9月	5人	25人
鳥取県新規採用職員体験研修	7.8.10.11月	6人	12人
計		11人	27人

(2) ボランティアの受入実績 鳥取城北高校生 (延べ2人)

5 就労支援事業の実績

作業班	7年度目標額	実績額 (前年度実績額)	達成率	作業の内容
園芸作業班	600,000円	600,000円 (600,000円)	100.0%	園芸作業の受託
清掃作業班	1,250,000円	1,467,347円 (1,733,780円)	117.4%	公共庁舎等の清掃作業
部品組立班	800,000円	996,656円 (842,858円)	124.6%	弱電機器部品の組立作業等受託
自主製品班	13,850,000円	12,035,183円 (12,686,154円)	86.9%	海産物加工、印刷製品等作成販売
計	16,500,000円	15,099,186円 (15,862,792円)	91.5%	